

## 鴨川市教育委員会 1 月定例会会議録

1 日 時 平成 20 年 1 月 23 日 (水) 開会 午前 9 時 30 分  
閉会 午前 11 時 30 分

2 場 所 天津小湊支所委員会室

3 出席委員 (1) 佐久間秀子 (2) 村上 修平 (3) 柏倉 弘昌  
(4) 根本 礼子 (5) 長谷川孝夫

4 出席職員 (1) 川名 実 (2) 滝口 悦夫 (3) 野村 利雄  
(4) 川名 一史 (5) 小倉 清 (6) 長谷川 勉

### 5 委員報告

- ・各委員より、1 月 13 日の鴨川シーワールドにおける鴨川市成人式の感想が述べられた。寒い日であったが、落ち着いた雰囲気の中で実施され、大成功であったとの報告がなされた。長谷川教育長から、話題としてマスコミ等で放映されるなど、定着した感のある本市の成人式であるが、更なる充実を目指して、運営方法などを検討していきたい旨の発言があった。

### 6 教育長報告

- ・長谷川教育長から、「特別支援教育について共に考える研修会」に関わり、鴨川小学校内に設置される『安房特別支援学校分教室』の工事の進捗状況や今後の特別支援教育等のあり方について説明があった。また、市長が年頭挨拶の中で、少子化対策や子育て支援に触れ、幼保一元化の推進や江見・鴨川統合中学校の建設、長狭地区小中一貫校の設置などが施策の最重要課題の一つであると言及した旨を報告した。その他、教育長・校長面接、南房総教育事務所長面接等についての報告がなされた。

[報告に対する質疑]

質疑なく、全員の了解がなされた。

### 7 議 事

#### (1) 議案第 1 号

「鴨川市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例の制定について」

- ・野村学校給食センター所長から、議案第 1 号について資料を基に説明がなされた。
- ・柏倉委員から、廃止される天津共同調理場及び小湊小学校調理場の施設や職員はどうなるのか、また、鴨川調理場に施設統合した後、どのように給食が提供されるの

か、との質問があった。野村学校給食センター所長から施設の処分については今後の検討課題であるが、職員は鴨川調理場等で勤務することとなる旨の説明があった。調理場統合後の給食については統一した献立となり、保温性の高い食缶や揚げ物入れを新規に導入し、保温・保冷を確保して、おいしく提供できるとの説明があった。

- ・長谷川教育長から、食器類はどうなるのかとの質問があり、野村学校給食センター所長から、旧鴨川市で使用していた食器籠・トレイ・どんぶり・はし・はし籠については、天津小湊地区で使用していたものと差異があるので、新規に導入して対応するとの説明があった。
- ・根本委員から、天津共同調理場及び小湊小学校調理場の跡地をどうするのか、また、関連して、長狭地区の3小学校が統合され、小中一貫校が開設された時の小学校の跡地はどうなるのかとの質問があった。長谷川教育長から、天津共同調理場及び小湊小学校調理場の跡地をどのように利用するかを検討中だが、天津調理場の跡地については、幼保一元化施設を構想する中で、天津保育園として整備することも一案であるとの説明があった。また、長狭地区の3小学校の跡地については、施設の目的外使用でなければ、建設時の補助金の返還をすぐにする必要がないので、小湊中学校の体育館が小湊スポーツ館として有効活用されている例もあり、これから活用方法を探っていく旨の説明があった。
- ・佐久間委員から、これまで天津小湊町の各学校は、調理場が近くにあり、給食時間や後片付けに余裕があったが、今後はゆとりがなくなるのではないかと、との質問があり、野村学校給食センター所長から、学校と相談させていただきながら、ゆとりを持てるようにしていきたいとの説明があった。

議案第1号は、その他に質疑なく全会一致で可決された

## 8 その他

(1) 各課長・所属長から、2月の教育委員会行事予定等について説明がなされた。

- ・滝口学校教育課長から、定例教育委員会会議の日時については、2月22日（金）午前9時30分から行うことで提案があり、了解された。
- ・川名生涯学習課長から、広報用資料に基づき、鴨川中央公民館で2月6日（水）～10日（日）の午前9時～午後4時に開催される、「第17回鴨川地区公民館フェスタ」について説明がなされた。
- ・小倉図書館長から、2月21日（木）の午後1時30分から開催される「図書館協議会」につて、説明がなされた。
- ・長谷川スポーツ振興課長から、2月24日（日）に開催される「第30回長狭街道駅伝競走大会」につて、説明がなされた。

- ・佐久間委員から、公民館の発表会等は地区別だけでなく、一堂に会して開催することもよいのではないかと、この発言があり、川名生涯学習課長から次年度の公民館活動の発表会のあり方を関係者と相談しながら、検討してまいりたいと回答がなされた。

## (2) その他

- ・滝口学校教育課長から、資料に基づき、平成20年度の「幼稚園ガイド」・「預かり保育のしおり」・「吉尾幼稚園の通園バス」と「鴨川市教育委員会だより（第1号 平成19年12月13日発行）」について、説明がなされた。
- ・川名教育次長から、資料に基づき、「平成19年度全国学力・学習状況調査」の安房地区の結果の考察について、説明がなされた。また、「長狭地区小中一貫校整備推進委員会設置要綱(案)」についての検討を進めているとの、報告がなされた。
- ・柏倉委員から、市立図書館の利用者は1日平均何人くらいになるのか、また、蔵書がどのくらいあり、市民の皆様から本等のご寄贈をいただくことはないのか、との質問があった。小倉図書館長から、利用者は1日平均約130名程度であり、蔵書は70,566冊（平成19年4月1日現在）となっており、ご寄贈いただいた本等は図書館の運営方針に従い、活用させていただいているとの、説明がなされた。
- ・佐久間委員から、安房特別支援学校の分教室に通うに当たり、送迎時間の短縮がされないのではないかとこの保護者の声を聞くが、実情はどうかとの質問があった。長谷川教育長から、安房特別支援学校で送迎バスの台数や運行ルートを考えていると聞いているので、各家庭での送迎も可能であるが、できるだけ送迎バスを利用させていただきたい旨の説明があった。
- ・村上委員から、本市の小中一貫教育の現状について教えてほしいとの要望があり、長谷川教育長から、本市の「小中一貫教育課程モデル案」に沿って、実践・実証を進めているところであり、本年度のまとめができあがり次第報告したいとの回答があった。

佐久間委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成20年2月22日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 川名 実